

「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」

(2016 年度 第 2 回) を開催しました！

(国土交通省 政策統括官付)

国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向けて、ICT（情報通信技術）を活用したバリアフリーに配慮したナビゲーション等のサービスの普及促進を図るため、「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（委員長：坂村健東京大学教授）を設置し、課題の検討、取組の展開を行っています。

サービス実現に当たっては、歩道上の段差や勾配、幅員等のバリアフリーに関する情報（歩行空間ネットワークデータ（図1））等が必要不可欠ですが、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、このようなデータの整備を加速化させるため、今年度は、データ仕様の簡素化、さらには、多様な主体による効率的なデータ整備・更新手法（図2）等について検討を進めています。

この度、11月22日（火）に今年度の第2回会議を開催し、これら検討状況等について報告し、審議していただきました。会議資料及び議事概要は近日中に下記URLに掲載する予定です。

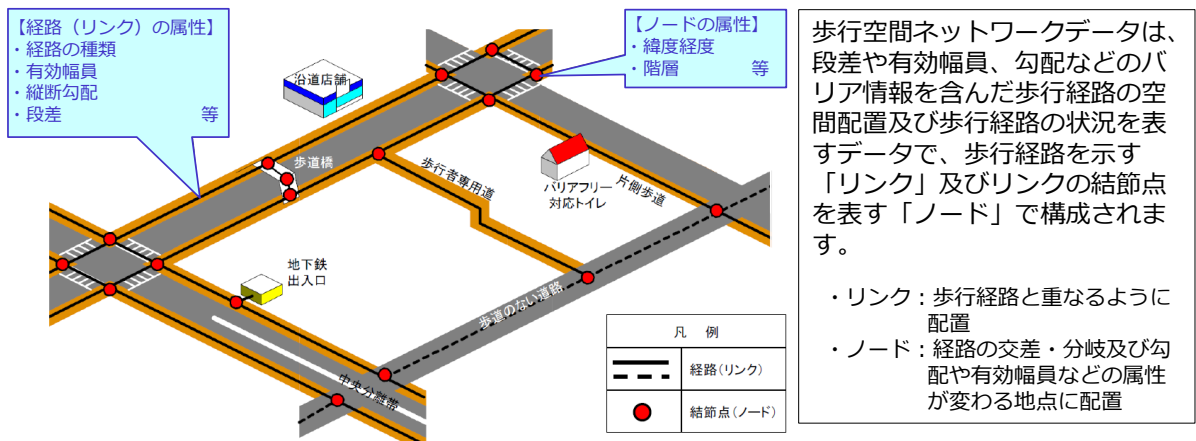
「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」ホームページ
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000020.html

今回の審議結果を踏まえつつ、データ仕様等の改訂内容を固めていきますが、その検証過程において、日産スタジアムや国立代々木競技場周辺エリアにおいて改訂仕様案に基づくデータを実際に整備した上で、関係者（ナビゲーションサービス事業者、障害者団体等）の意見も伺うこととしています。また、多様な主体によるデータ整備・更新手法についても、専門知識を持たない方を対象として簡易的なアプリを用いてデータ整備を行うイベントを開催し、実施に当たっての各種課題を検討することとしています。

国土交通省では、これらサービスの全国展開に向けて、引き続き地方公共団体等の様々な主体と連携しながら取り組んでまいります。関心のある方は是非お問い合わせください。



第2回委員会の様子（2016.11.22）



歩行空間ネットワークデータに含まれる主な情報

経路の種類、方向性、有効幅員、縦断勾配、段差、エレベータ、信号、視覚障害者誘導用ブロック 等

図 1 歩行空間ネットワークデータの概要

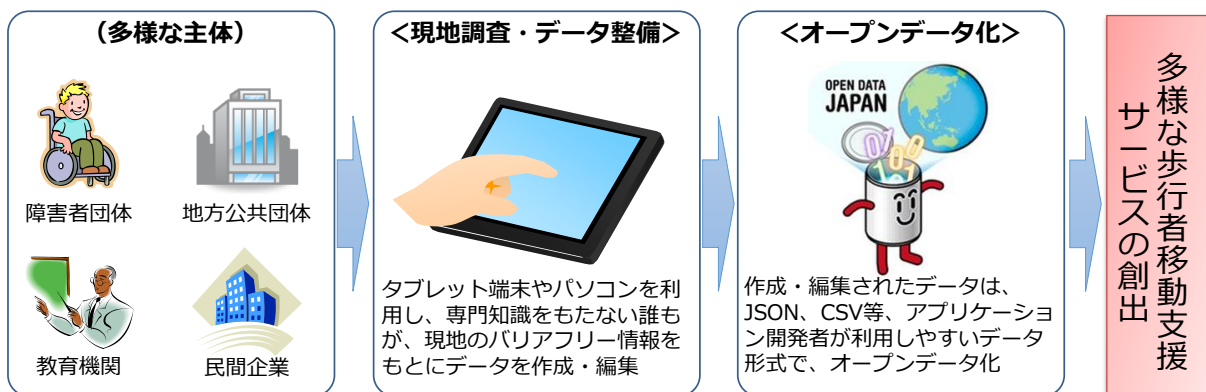


図 2 多様な主体によるデータ整備・更新のイメージ

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系）（併）政策統括官付
 担当 原田・田中
 TEL 03-5253-8111（内線 53-102、53-115）

【関連ホームページ】

ICT を活用した歩行者の移動支援の推進
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html